

当社初となる LNG バンカリング船の命名式を実施
—2026 年度から Ship to Ship 方式による
船舶向け LNG 燃料供給 (LNG バンカリング) 事業を開始—

2026 年 3 月 5 日
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社 (代表取締役社長: 藤原 正隆) の 100% 子会社である、大阪ガスインターナショナルトランスポート株式会社 (代表取締役社長: 岡本 素直) が出資する大阪湾 LNG シッピング株式会社が建造中の LNG バンカリング船^{※1}の命名式が、下ノ江 (したのえ) 造船株式会社 (大分県臼杵市) にて本日執り行われました。本船は瀬戸内海を意味する「SETO」と、青い海を意味する「AZURE」を組み合わせ、美しい瀬戸内海のイメージを表現した「SETO AZURE」(読み: セト アズール) と命名されました。

2026 年 4 月の同船就航後、当社は LNG 供給・販売事業者として、株式会社商船三井、川崎汽船株式会社、日本郵船株式会社が運航する LNG 燃料鉄鋼原料船などの船舶を主な LNG 供給先として、Ship to Ship 方式^{※2}による LNG 燃料供給 (LNG バンカリング) を行う予定です。

近年、世界的な脱炭素化の動きや国際海事機関が定めた温室効果ガス削減目標^{※3}を背景に、LNG を船舶の燃料として利用する LNG 燃料船の数が増えています。LNG 燃料船は重油を使用した場合に比べて CO₂ 排出量を減らすことが可能ですが、現在の日本では LNG 燃料の供給設備が十分に整っていないという課題がありました。

当社は、すでに開始している Truck to Ship 方式^{※4}、Shore to Ship 方式^{※5}に続き、今回開始する Ship to Ship 方式とあわせて主要な 3 方式全ての LNG 燃料供給が可能となることで、安定かつ柔軟な LNG 燃料供給に貢献します。また将来的に船舶燃料として供給する LNG を e-methane (以下、e-メタン) に置き換えることで、船舶燃料の脱炭素化をスムーズに進めることが可能となります。

Daigas グループは、今後も船舶向けへの LNG 燃料供給を拡大するとともに、2025 年 2 月に発表した「Daigas グループ エネルギートランジション 2050」に基づき、e-メタンを社会実装し、船舶燃料向けへの供給を推進することで、海運業界の低・脱炭素化の実現に貢献してまいります。

※1: LNG を燃料とする船舶に対して LNG 燃料を供給する船舶のこと。

※2: 岸壁に係留中もしくは錨地に停泊中の LNG 燃料船に対して、LNG バンカリング船が接舷して LNG を供給する方式。

※3: 2050 年頃までに、温室効果ガス排出をネットゼロとする目標。

※4: 岸壁に係留中の LNG 燃料船に対して、岸壁に駐車した LNG タンクローリーから LNG を供給する方式。

※5: 岸壁・棧橋に係留中の LNG 燃料船に対して、陸上 LNG ターミナルなどから LNG を供給する方式。

■LNG バンカリング船「SETO AZURE」



全長：86.29m

全幅：17.60m

総トン数：約4,350トン

LNGタンク方式：IMO独立タンクTYPE C方式

LNGタンク容量：約3,610m³

推進方式：電気推進（LNGと重油のデュアルフューエルエンジン）

船主：大阪湾LNG SHIPPING株式会社

造船所：下ノ江造船株式会社

■命名式の様子



写真左から

1人目 下ノ江造船株式会社 田中 章太 代表取締役社長

2人目 国土交通省 足立 基成 大臣官房審議官（港湾）

3人目 藤原 美由紀 大阪ガス株式会社藤原正隆代表取締役社長夫人

4人目 大阪ガス株式会社 藤原 正隆 代表取締役社長

5人目 NSユニテッドタンカー株式会社 福田 雄二 代表取締役社長

6人目 阪神国際港湾株式会社 木戸 貴文 代表取締役社長

会社概要

■大阪ガス

会社名	大阪ガス株式会社
本社所在地	大阪府中央区平野町四丁目1番2号
設立	1897年4月10日
代表者	代表取締役社長 藤原 正隆

■大阪ガスインターナショナルトランスポート

会社名	大阪ガスインターナショナルトランスポート株式会社
本社所在地	大阪府中央区平野町四丁目1番2号
設立	1990年4月2日
代表者	代表取締役社長 岡本 素直

■大阪湾LNG SHIPPING

会社名	大阪湾LNG SHIPPING株式会社
本社所在地	大阪府中央区平野町四丁目1番2号
設立	2023年6月14日
代表者	代表取締役社長 岡本 素直
出資者	大阪ガスインターナショナルトランスポート株式会社、NSユナイテッドタンカー株式会社、阪神国際港湾株式会社